

事業番号	09 06 14	事業改善シート（27年度実施事業分）			■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	農村活性化支援事業（遊休農地活用総合対策事業） （人と農地を明日へとつなぐ支援事業）				部局	農政部		
					課・室	農村振興課		
総合5か 年計画	プロジェクト	3-4-3 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト			E-mail	noson@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H18 ~		

1 事業の概要

目指す姿	耕作が困難となった所有者に替わる農地利用や集落営農組織の育成・確保を図り、耕作放棄地の解消と有効活用される面積の拡大を目指す。												
現状 (予算編成時)	農業者の高齢化等により耕作放棄された農地は、農業生産の基礎を脆弱化するばかりでなく、農業農村が持つ多面的機能の低下をもたらす深刻な課題である。												
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 遊休農地の解消と生産販売と一体となった有効利用は県農政の重要な課題であるため 食料・農業・農村基本計画(国)、長野県中期総合計画(県)、長野県食と農業農村振興計画(県)、棚田地域遊休農地解消支援事業実施要領										
	県民との協働による実施： 実施中												
成果目標・ 事業内容	① 成果目標(H27)												
	○国庫交付金による再生について合意形成する市町村:30市町村(これまでの取組状況等から) ○中山間集落営農組織等による再生:4地区40a(予算規模から) ○棚田地域での再生農地の活用活動:5地区(予算規模から) (設定理由:遊休農地の解消に向け、生産・販売が一体となった取組みの強化や中山間地域の農地の有効利用を目指し設定)												
	② 事業内容 (単位:千円)												
		項目	実施方法	H27実施内容	H26 (当初)	H27 (要求)	H27 (予算案)						
	1	棚田地域遊休農地解消支援事業	補助金	(実施主体:農業者等) 再生農地が持続的に活用されるため、消費者等と連携した地域での取組活動等を支援	840	760							
2	中山間集落営農組織支援事業	補助金	(実施主体:集落営農組織等) 中山間等担い手が著しく不足し耕作放棄地率が高い地域において、集落営農が将来にわたり地域の中心となって農業を担っていくために必要な農業機械導入等を支援	4,000	4,000								
3	遊休農地解消・活用推進事業、経常経費	直接	地方事務所が地域の取組への助言や相談活動を実施	500	500								
	合計			5,340	5,260	0							
事業 コスト ト	区 分(単位:千円)		24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越						項目	H26末 (見込)	H27		H28 目標	
		当初予算	19,053	5,420	5,340	5,260			目標	成果	達成状況		
		補正予算	-3,200					国庫交付金による再生について合意形成する市町村	33市町村	30市町村			
		合計(A)	15,853	5,420	5,340	5,260	0	中山間集落営農による解消面積	40a	40a			
	Aの財源	一般財源	5,600	4,500	4,500	4,500		棚田地域での取組地区	4地区	5地区			
		県債											
		国庫支出金											
		その他	10,253	920	840	760	0						
	ト	決算額(B)	14,670	5,420									
概算人件費	職員数(人)	5.00	2.00										
	概算人件費(C)	41,290	16,516	0	0	0							
	概算事業費(B(A)+C)	55,960	21,936	5,340	5,260	0							
指摘事項等への対応		(指摘事項等)					(対応)						
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善													
要求からの主な変更点													